

会 議 録

会議の名称	令和4年度 第1回飯塚市個人情報保護審議会
開催日時	令和4年4月22日(金) 午前10時00分～午前11時30分
開催場所	飯塚市役所 本庁舎6階 教育委員会会議室
出席委員	井上(道)委員(会長)、岡松委員(副会長)、下村委員、田中委員、井上(節)委員
欠席委員	柴田委員
事務局職員	手柴総務課長、橋本課長補佐、向野
実施機関職員	大隈経済政策推進室産学担当主幹、大久保経済政策推進室産学担当係長、福田情報管理課長
会議内容	<p>1. 各種証明書の電子交付実証事業について 実施機関（大隈経済政策推進室産学担当）及び情報管理課による制度説明</p> <p>2. 質疑応答</p> <p>○参加者に配布するQRコードは実証実験の時だけのものか、本格的に実用化した際も同様か。 →安全性を担保するため、今回の実証実験のみ使用。</p> <p>○提出を受ける事業者側のなりすましやセキュリティ対策はどのように行うのか。 →今回の提出先は飯塚市役所総務課や、関係会社人事担当であり、事前登録をした送信先にしか送れない仕組みになっている。</p> <p>○なりすましや詐欺目的等で提出先事業者として登録をしようとする者がいた場合、どのようにチェックし排除するのか。 →今回はQRコードを使用することで送信先選択のミスを防ぐ方法を取っているため、そのようなリスクは起こらない。</p> <p>○取得履歴はどこに保管し、どうチェックするのか。 →証明書の発行サーバーに履歴は残る。ブロックチェーン認証局では発行履歴は分かるが、個人情報の判別できない。</p>

○実証実験というのは、実際に行った時にどのようなリスクがあるかを検証するためのもの。実証実験のみ QR コードを用いて安全性を高め、実用化の際には使用しないのであれば、実証実験の意味がないのではないか。

→現在、国のセキュリティポリシーの評価基準等は全て開示されておらず、今回は市のセキュリティポリシーに順じている。今回はスマートフォンで証明書の電子データを受け取れるかまでを検証し、今後技術や研究が進んで国も認めるものになれば、マイナンバーカードのみでの手続き等につながる。

○情報管理課での決裁を受けるにあたり、質問や意見等があったか。

→今後の想定はつけておらず、情報管理課としてはこの実証実験のスキームにて判断している。自治体で判断するのは難しく、LGWAN とインターネットの接続に懸念はあったが、コンビニ交付と同様のスキームであり、J-LIS が承認しているものということで可という見解に至った。

○段階を踏んで審議にかけているが、最終段階まで想定した中で個人情報の安全性を確認したい。

→社会実装までには、国の法律との兼ね合いやシステム面、情報リテラシー面等まだ調整・検討に時間を要する。今回の実証実験は、この条件でシステムを実行できること、その安全性の実証までを目的として終了する予定である。

○西鉄データセンターの社員は住民情報の検索ができるのか。

→できる。入退室管理等のリスク管理体制の確認を行っている。

3. 意見

○公益性はある。技術に関しては、今後の実用化には不安はあるが、現時点の実証実験の内容であれば是認。今回は相手方(提出先)があるため、セキュリティ対策等を間違いなく行うこと。

○インターネット上のブロックチェーンの安全性にはまだ不安はあるが、今回の実証実験に関しては、同意を取った 300 人のみということで是認。今後は証明書等の個人情報に拘らず、横展開でブロックチェーン技術を活用いただければと思う。

○国税庁は既にマイナンバーカードのみで証明書類が取得できるようになっている。300 人での実証実験であれば、もっと条件を緩和しても

	<p>よいのではないか。</p> <p>○国に先行して行うのであれば、リスク検証をしっかりとやってもらいたい。</p> <p>○社会実装までにはまだステップ、検証が必要と感じる。専門委員会に外部の方も増やして検証等を行い、個人情報を守り通すことを徹底してもらいたい。</p> <p>4. 次回日程調整</p> <p>次回日程 日時：5月11日(水) 午後1時30分～ 場所：6階 教育委員会会議室 ※全員出席予定</p>
<p>会議資料</p>	
<p>公開・非公開 の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者0人)</p>
<p>その他</p>	